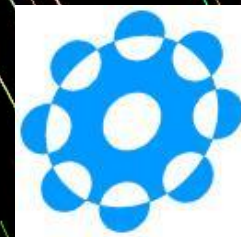


総研大 物理科学研究科 構造分子科学専攻・機能分子科学専攻
第8回 夏の体験入学 2012年8月6~9日



光で分子を回してみよう！

分子科学研究所 光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門

教授 大島康裕

助教 水瀬賢太 博士研究員 林 雅人

総研大 三宅伸一郎

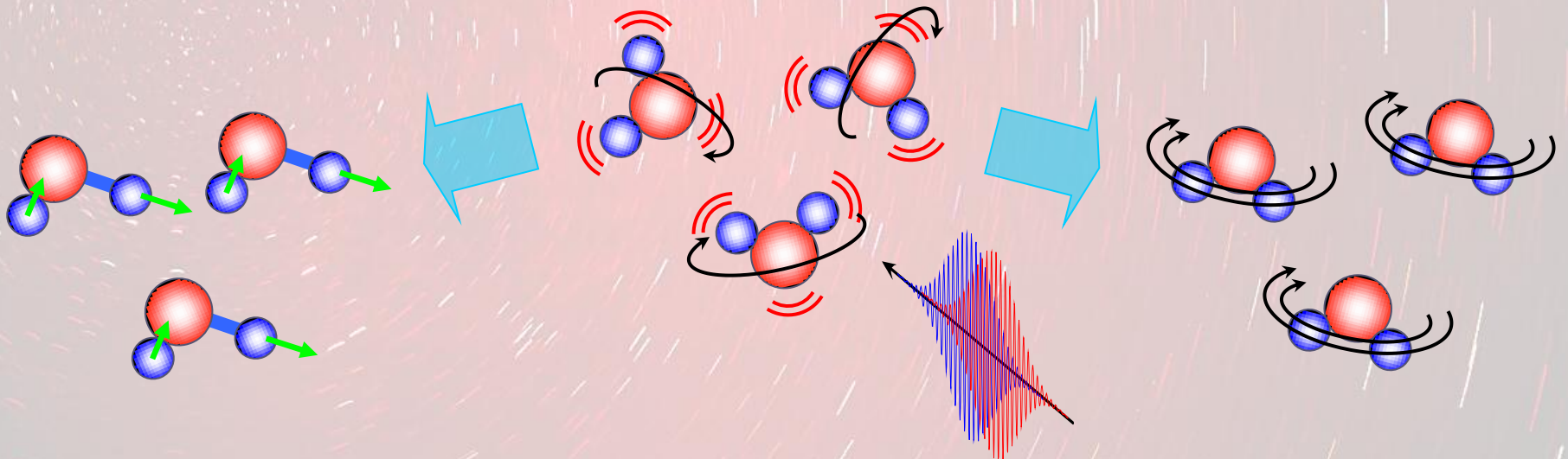
総合研究大学院大学・物理科学研究科・構造分子科学専攻

われわれが目指すこと

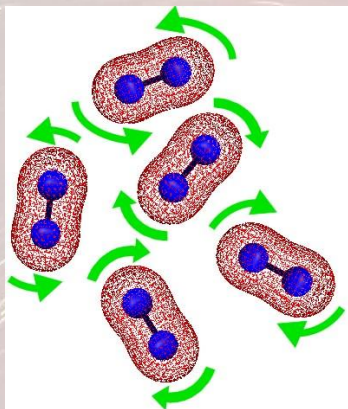
「分子運動」の量子状態分布・量子波束(・量子準位構造)を
(レーザー光等で)外部的に操作する方法論の開拓

原子核の相対運動(振動・回転)に焦点

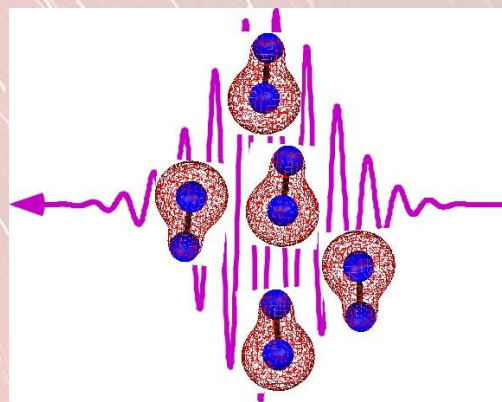
気相孤立系の分子を特徴付ける自由度 \Leftrightarrow 固体系(電子、スピン)
化学反応も、究極的には原子の組替え運動



光による分子回転の制御



ランダムに
運動している
分子集団



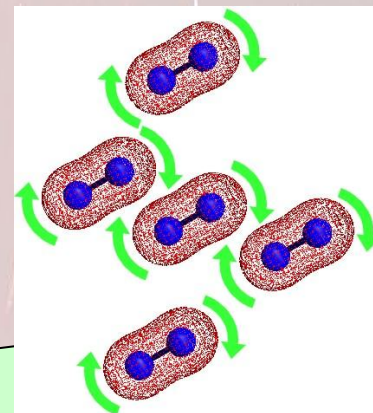
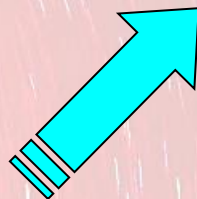
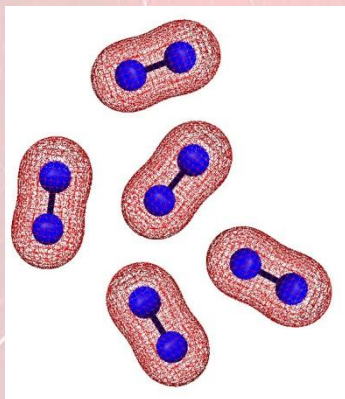
撃カトルクによる
瞬間的な配列



内部温度の
冷却
回転運動の停止

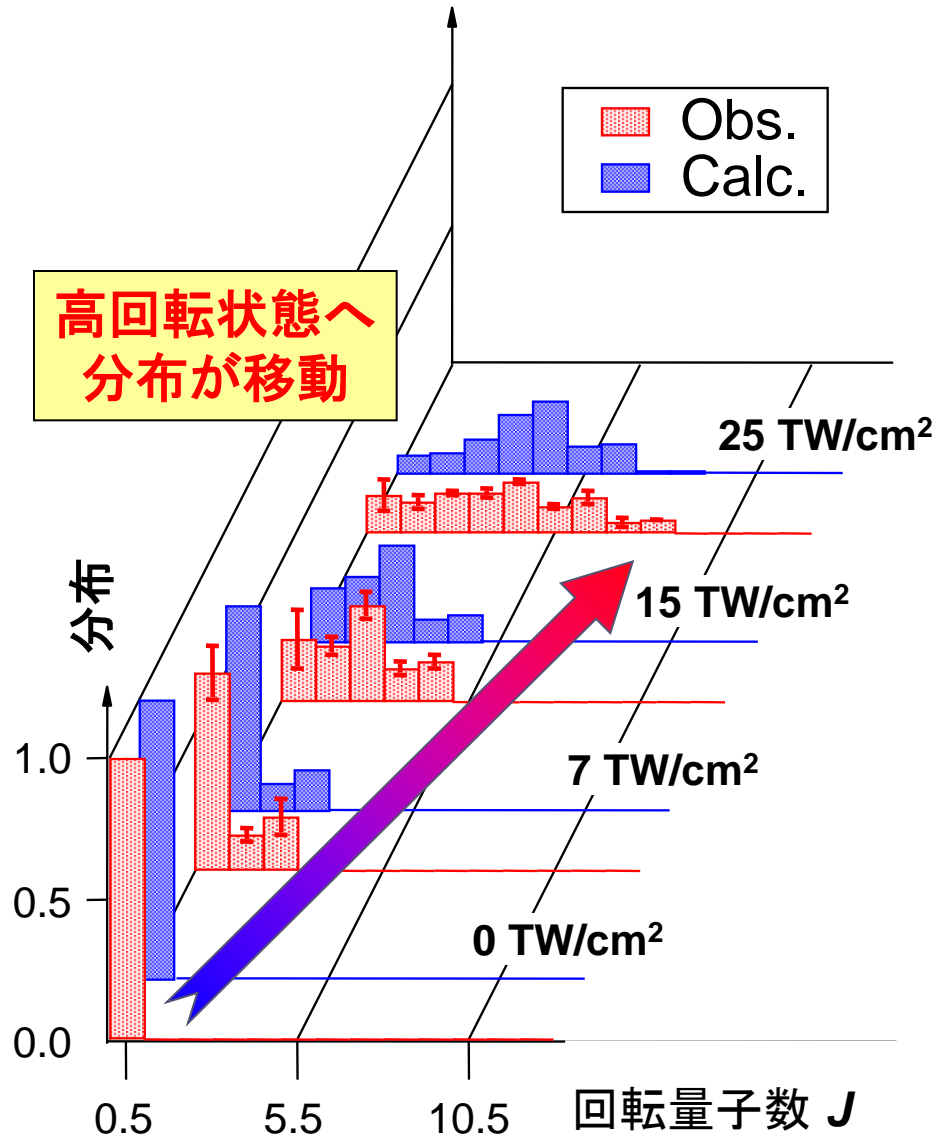
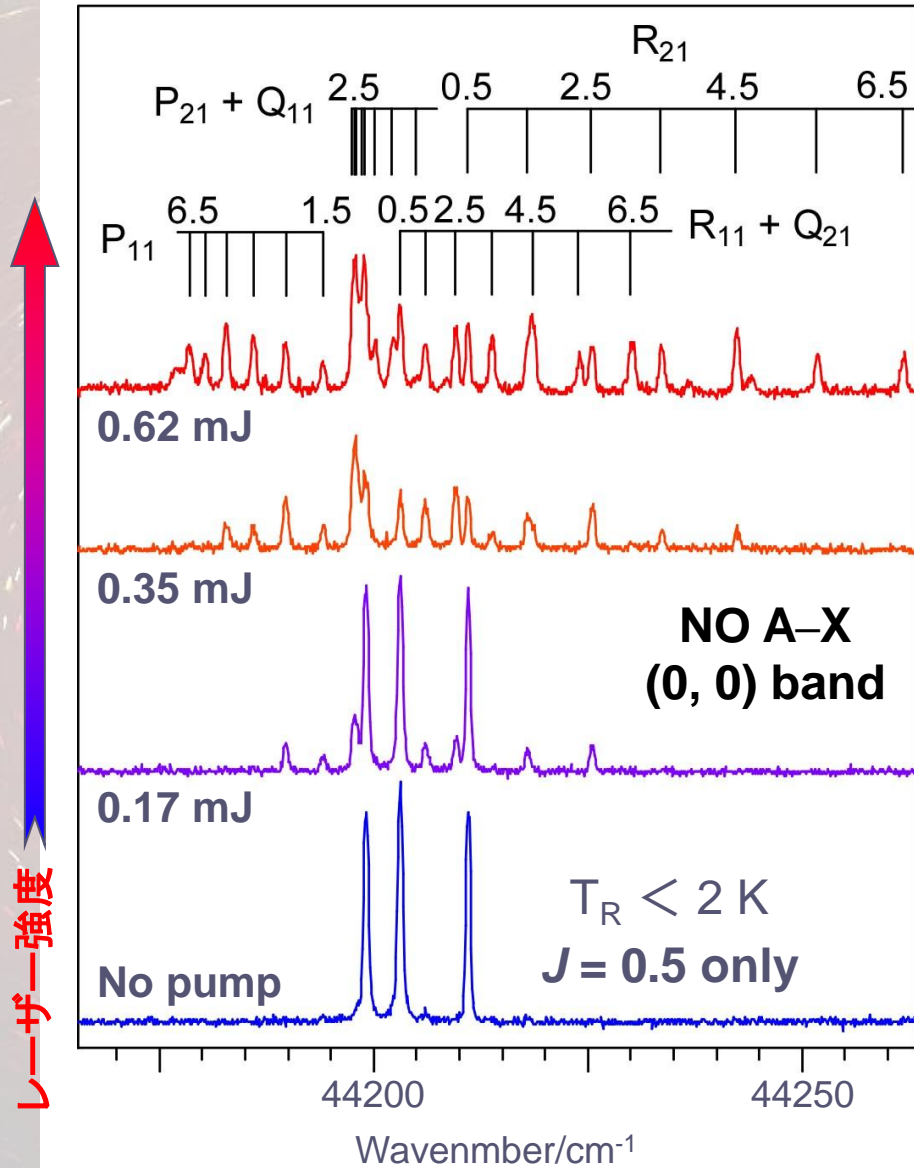


高強度極短パルス光



コヒーレント
な回転励起

NO分子の回転励起



レーザー強度

研究で用いる重要なアイテム

レーザー

1)きれいな「波」としての「光」

→ 時間 or エネルギーに関して極限的な分解能

2)大きな電場強度

→ 分子に対する非線形的、非摂動的な効果



超音速分子線

極低温への断熱的な冷却

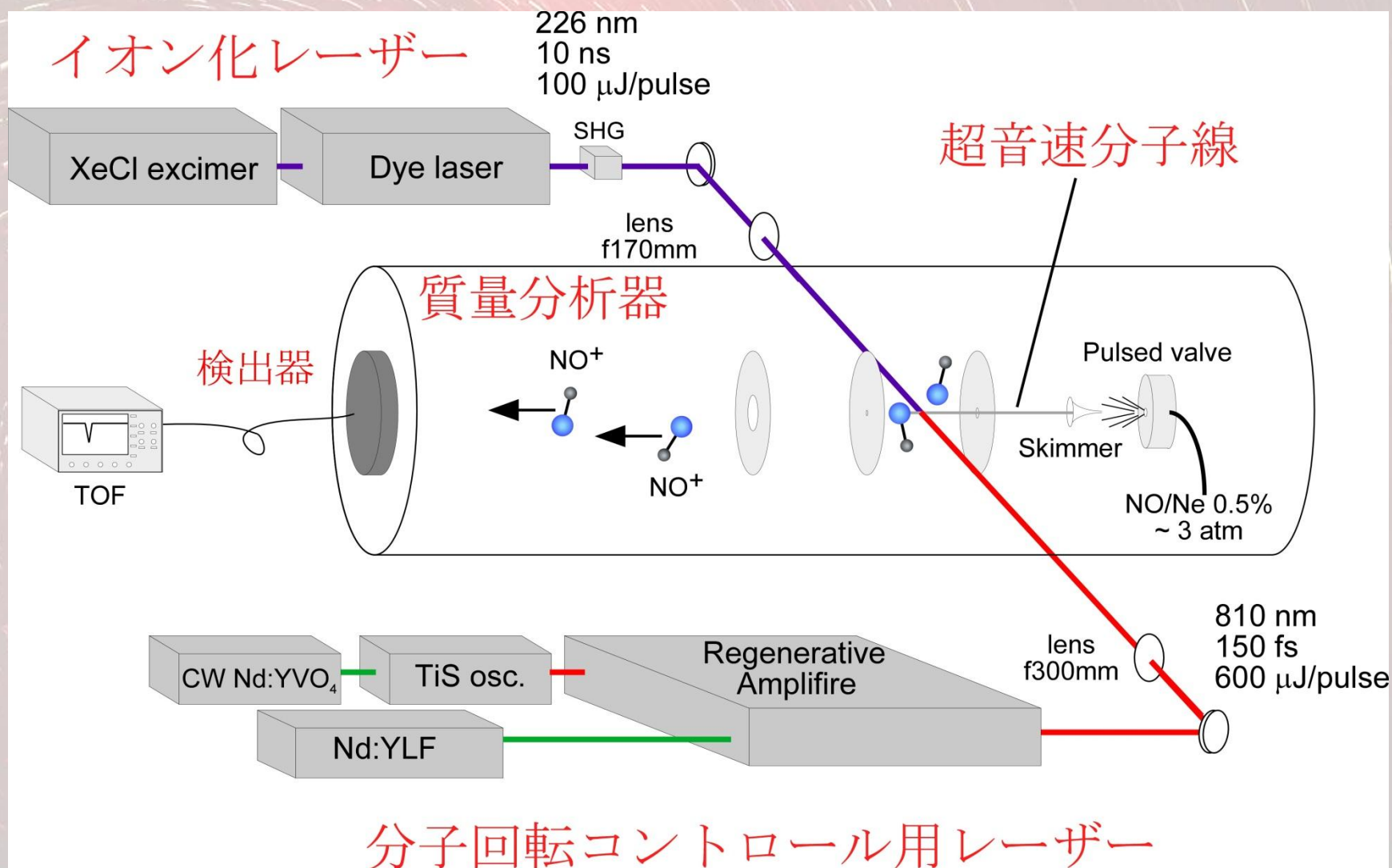
→ 最低状態に分布を制限

質量分析

共鳴光イオン化の利用

→ 波長 & 質量の2重選別

今回の使用する実験装置



今回の体験入学のメニュー

1. 分子を光でイオン化してみよう

～ 紫外レーザー光による共鳴イオン化を「体験」

2. 分子の質量を計ってみよう

～ 飛行時間型質量分析を「体験」

3. 分子を極低温まで冷やしてみよう

～ 超音速分子線を「体験」

4. 分子の回転を光で制御してみよう

～ 高強度極短パルスによる回転励起を「体験」

場所：研究棟109号室 時間：9:30より